

Shine

津幡南中学校長 永井 隆和
1年学年主任 村上 直哉

様々な場面でみつけた、発見の秋！ ～校外学習～

10月13日（金）に校外学習を行いました。その中で、施設に触れ、職人さんに触れ、そして関わってくれた方々に触れ、また友達の良さに触れた充実の一日となりました。この1日の活動を通して、自分の将来を考えるきっかけになったことと思います。学んだことや発見したことを今後の学校生活やこれからの人生にいかしていってほしいと願っています。



ジョブカフェ石川にて



本多の森ホール内にある「ジョブカフェ石川」に行きました。ここでは、4つのプログラムでそれぞれクラス単位で学習しました。

職業講話（クラス単位で職業人から貴重なお話を頂きました）

それぞれのクラスで、プログラム委員が司会進行役を務め、大変有意義な時間を過ごすことができました。仕事内容や、仕事に就いたきっかけ、やりがいや苦労したことなどをお聞きしました。すべての職業に共通する話題は、自分から挨拶をすること、時間を守ること、プロとしてのこだわり（責任感）を持つこと、そして、コミュニケーション力が必要だということでした。また、あるクラスでは、飛行機に給油する仕事に従事されていた方の話を聞くことができ、給油によってフライトが遅れることがあってはならず、「1分遅れることが“事故”なんです。」という言葉がとても印象に残ったようです。学校生活でも時間を守ることの大切さを学んでいます。これからも時間を意識して生活していきましょう。

キャリア・ガイダンス（中学生のマナーについて学びました）

この講座では、働く人に必要な態度や社会の一員としての必要なマナー、そして挨拶の基本や話を聴く態度について学ぶことができました。中学校で耳にする言葉がたくさん出てきており、改めて基本的な生活習慣を身につけることが大切なんだと実感しました。

◆働く人に必要な態度

- ①周りの人に認められること
- ②任せられたことを最後までやること
- ③失敗しても諦めないこと

◆社会の一員としての必要なマナー

- ①人に迷惑をかけない
時間を守る、自分勝手×、後片付け
- ②人によい感じを与える
あいさつは自分から、感謝の言葉、気配り
- ③人に礼儀正しく接する
言葉遣い、お辞儀をする、聴く姿勢



職業疑似体験&職業適性診断（パソコンを使って）

この講座では、2つの部屋に分かれて体験を行いました。職業疑似体験では、自分の興味のある仕事に就くためにどのようなルートをとったらいいかや、その職業に関するクイズに挑戦しました。また、自分の適性を知り、自分に合った職業をコンピュータが診断してくれるブースでは、各々がその結果に一喜一憂し、何枚もプリントアウトしている姿が見られました。

★★★★★★★★★★★★ ジョブカフェ石川での学びを通して ★★★★★★★★★★★★

- 面接のことや社会人としての生き方が知れたので職業に就いたときに活かしていきたいです。(①神前 和志)
- 今回の適性診断などでいろいろな職業について知ることができたので、今後の進路選択に活かしていきたいと思いました。また、社会人に必要なことも知れたので、今後実践していきたいです。(①井上結衣名)
- 今後、人として、社会人としてこれからの中学校生活から大人になるまで、しっかりとしたマナーや決まりを守り、職業について調べる中で、仕事に興味を持っていこうと思いました。(①上野 智貴)
- 自分に合った職業も知れたし、中学生のマナーについてもよく分かったので、今後はできてないことをできるようにしていきたい。(②柴田 瑞葉)
- この学習を踏まえて、自分の目指したい夢を考えることができよかったです。また、これからの学校生活でも意識して過ごしていきたいです。(②加藤 結愛)
- 将来の仕事を決めるときに今日学んだことを活かしていきたい。また、マナーについても知ることができたので今後も前向きに取り組んでいきたい。(②山本 隼斗)
- 看護師の大変さを知ることができ、職業選びは慎重にしたいと思いました。中学生としてのマナーを今後の学校生活に活かしていきたいです。(③篠塚 洋介)
- 職業や将来のことについて調べたり、多くのことについて学べたりすることができ、自分の進路についてよく分かりました。キャリア・ガイダンスの話を聞いて、もっと礼儀を正そうと思いました(③吉多 諒太)
- 看護師の仕事の楽しさや大変さなどいろいろな経験を話してくれて、職業選択の役に立ちそうだと思います。これからの職業選択や職業についての知識を残しておきたいです。(③森川 莉奈)
- 学んだ礼儀などを今の学校や社会に出て仕事をするときなどもこの気持ちやマナーを忘れずにしていきたい。(④井上 泰地)
- 職業疑似体験は面接やその職業でうまくいかなかったときにどのように考えればいいのかが生かせると思った。また、職業講話で話していたほしい人材に自分もなれるように意識して生活したい。(④赤田 桜翔)
- 職業適性検査や疑似体験システムで学んだことは、将来の自分の職業を選ぶときや、その仕事に就くときに活かすことができると思いました。また、職業講話でお客様に寄り添うことが大切だと学びました。(④岸本 菜瑚)
- 今後、目上の人や先輩に会ったら、礼儀や言葉使いを意識して、もっときれいにしていきたいと思います。(⑤石森 遥稀)
- 適性診断で自分にあった職業を知れたので、このことを活かしてなりたい職業を見つけていきたいです。(⑤中嶋 日菜多)
- 保育士の人たちは、多くの子どもを一人で見ないといけなくて大変だったのを、工夫してみんなで協力して楽にできていたから、工夫と協力は大切だと思います。(⑤丹羽 一智)
- 学校以外でも挨拶などのマナーを意識し、職場体験でも活かしたいと思いました。(⑥絹谷 柚)
- 将来の職業選びや高校や大学を選ぶのに活かしていきたいです。また、自分に合った職業を知ることができたので、その職業について詳しく調べてみたいです。(⑥早川 透生)
- ジョブカフェでの学びを通して、進路選択の際に自分に合った職業を選びやすくなりました。また、キャリアガイダンスでは、マナーについて深く学ぶことができました。その学びを、日常生活や学校生活で活かしていきたいと思います。(⑥松村 美咲)

石川観光物産館での和菓子作り体験をしました

ここでは、和菓子作りを体験しました。餡子と皮になる材料があらかじめ一人ずつに用意され、デモンストレーションしてくれる職人さんの手元を画面で確認しながら一緒に取り組みました。最初は恐る恐る材料をこねる様子が見られましたが、だんだんと要領をつかみ、皮の模様には工夫を凝らすなど、オリジナリティーあふれる作品が3つ出来上がっていました。崩れないように慎重に箱詰めし、大事そうに袋を持ちながら会場をあとにする多くの生徒の姿に、心がとても和みました。きっとおいしくいただいたことでしょう。



木材建築の癒しの空間、石川県立図書館を見学しました

今年完成した県立図書館を見学しました。外観からは想像できない室内の癒しの空間がわたしたちを包んでくれました。子供からお年寄りまで、落ち着いて読書ができる空間が広がっていました。天井から吊り下げた”鳥かご調のいす”に腰掛け、森の中にいるかのような時間を過ごしている生徒もいました。また今度、プライベートで多くの生徒が訪れ、有効に利用してくれたらと思います。



学びの秋、芸術の秋、読書の秋、発見の秋、満喫!

1組



2組



3組



4組



5組



6組

